

1 福祉楽団の概要と自己紹介

- a. 法人の概要
- b. 理念

2 恋する豚研究所

- ① 養豚×福祉×クリエイター
- ② 就労継続支援 A 型施設
- ③ 福祉を売りにも言い訳にもしない

3 栗源第一薪炭供給所（1K）

- ① 農林業×福祉（就労 B 型）
- ② 障害のある人がチェーンソーを使う
- ③ 農林作業の構造化

4 地域ケアよしかわ

- ① 団地の中の小さな訪問介護
- ② 子どもがあつまる。おばちゃんがあつまる。

5 その他

- ① 特養通り抜けプロジェクト
- ② ビュートゾルフの視察からの「ケアコラボ」の開発
- ③ COVID-19 対策からのバックパック開発

6 これからの福祉実践の視座

- ① さまざまな理由で生きづらさを抱えている人とどのように共生するか
ダイバーシティは前提であり、目指すべきものではない。
刑務所や少年院から出てきた人や執行猶予の人などは？
- ② 地域の経済を循環させる取り組み（地産地消）
- ③ 環境政策と福祉政策の近接（地域の宅配の例）
- ④ クリエイターとどのように協働するか（価値の変換・言語化）
- ⑤ 信頼を基盤にした実践
- ⑥ 情報技術やロボット、AI への期待と限界
エネルギー → 情報 → 生命（LIFE）の時代へ
- ⑦ 課題は現場にある。その課題を分析し楽しく向き合う。
→ 分野を超えて解決策を模索する楽しさ
- ⑧ 広い視野（世界を見る）をもって、目の前のひとつの実践をする

資料



<http://urx3.nu/jVb>